

レシップホールディングス株式会社

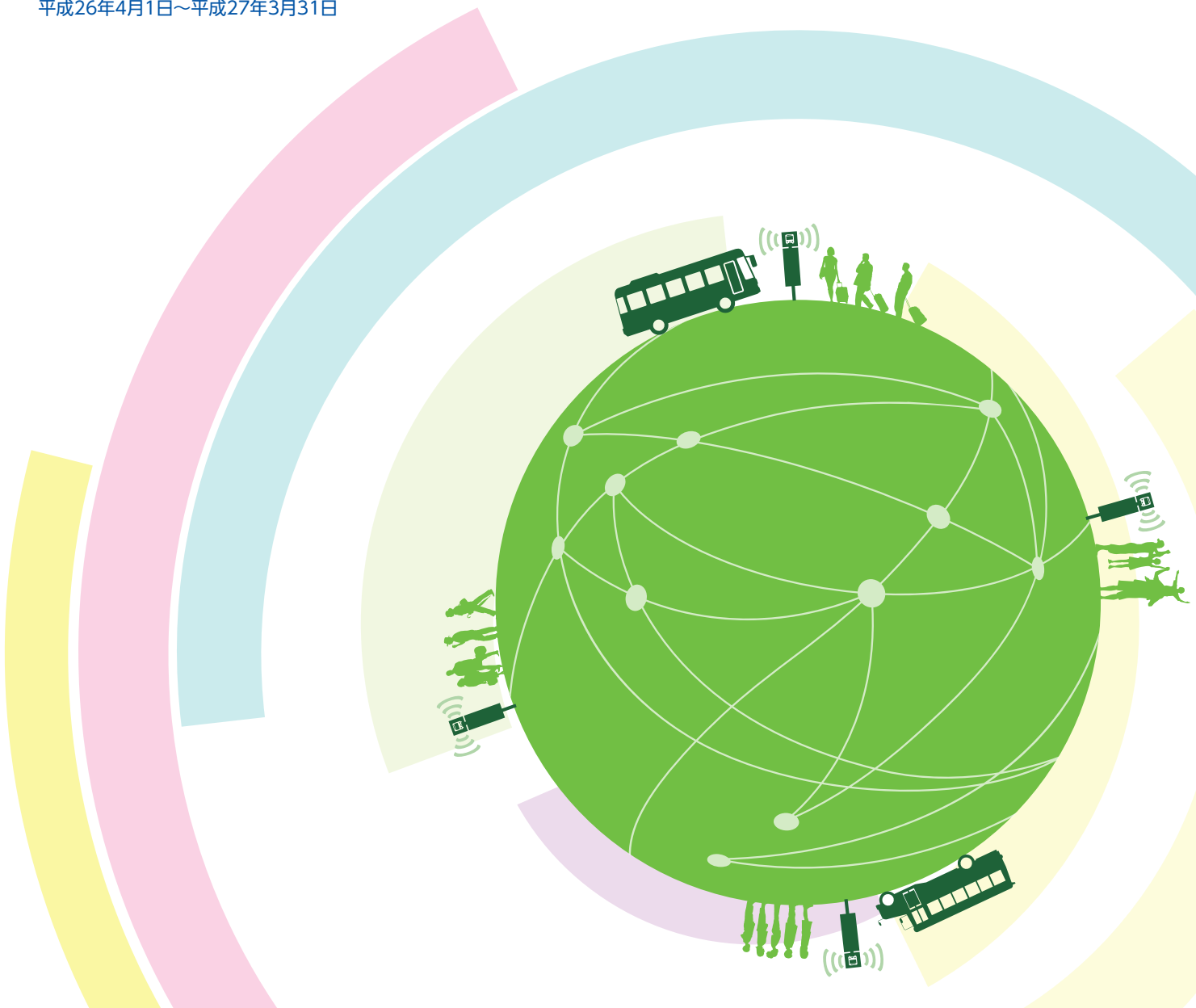
平成27年3月期

報告書 第63期

平成26年4月1日～平成27年3月31日

LECIP
GROUP

証券コード：7213





代表取締役社長
杉本 眞

高いレベルで安定的に収益が確保できる
事業構造と企業体質の改善に取り組んで
まいります。

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、当社グループの平成27年3月期の事業概況についてご報告いたします。

平成27年6月

当期の業績についてご説明ください。

過去最大の売上高

当連結会計年度における我が国経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が和らぎ、個人消費が回復基調にあることに加え、企業の投資活動に関してもようやく改善の兆しが見えてまいりました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、前期よりスタートいたしました中期3ヵ年計画「+1=2015」の重点課題である「TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱にする」「次世代機器・システムの商品企画と拡販」「海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造」「国内外でのLED商品の拡販」「プロセス改善によるQCDの向上」の5つの課題に向けた取り組みに注力し、連結売上高につきましては過去最大の売上高を記録し、4期連続の増収、経常利益につきましては2期ぶりの増益となりました。

次期の見通しはいかがですか。

減収減益の見通し

平成28年3月期は、輸送機器事業において、海外では北米地域での増収を見込んでおりますものの、国内では運賃收受システムの大型案件の納入を予定していないことから、減収の見通しとなっております。また、産業機器事業においても、通信基地局向け無停電電源装置の前期からの反動減により減収を見込んでおります。損益面につきましては、主に減収要因に加え、北米地域において受注済み案件の納入に向けた人的投資が引き続き高い水準で推移する見通しであることから、減益を見込んでおります。

以上のことから、平成28年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は前期比14.4%減の173億円、営業利益は50.3%減の3億円、経常利益は61.5%減の3億円、当期純利益は67.0%減の75百万円を見込んでおります。



中期経営計画の進捗について、お聞かせください。

TMSの納入進む

現在の中期経営計画では、「新しい市場=海外」と「新しい分野=TMS（運行管理システム）」に挑戦することで、平成28年3月期の連結売上高200億円、連結経常利益12億円（経常利益率6%）、海外売上比率20%を目標として掲げております。売上高に関しましては、1年前倒しで目標を達成しました。

まず海外につきましては、当社が重要地域と位置づけている北米とシンガポールの2地域に関して、シンガポールにおいては、以前より強固なビジネス基盤を築いており、今後も安定的な収益を見込むことができる状況にあります。一方、北米ビジネスに関しては立ち上がりの遅れにより、投資回収にも遅れが生じております。その要因としては主に現地主導による受注済み案件のプロジェクト管理に甘さがあり、拡販フェーズに移行できていないことが挙げられます。しかしながら、この点につきましては、現地主導から日本主導に切り替え

ることにより、状況の改善が見えてまいりました。TMS（運行管理システム）に関しましては、バスの位置情報を管理するバスロケーションシステムや、乗務員支援システム、車両管理システムなど、国内外において納入実績を積み上げ、確実にステップアップしております。

以上のように、現在の中期経営計画に関して、「新しい市場=海外」と「新しい分野=TMS（運行管理システム）」の取り組みに関しては、様々なことを模索しながら、一歩ずつ着実に進んでおります。従いまして、当社グループとしては、今後も現在の方向性を継続する中で、高いレベルで安定的に収益が確保できる事業構造と企業体質の改善に取り組んでまいります。

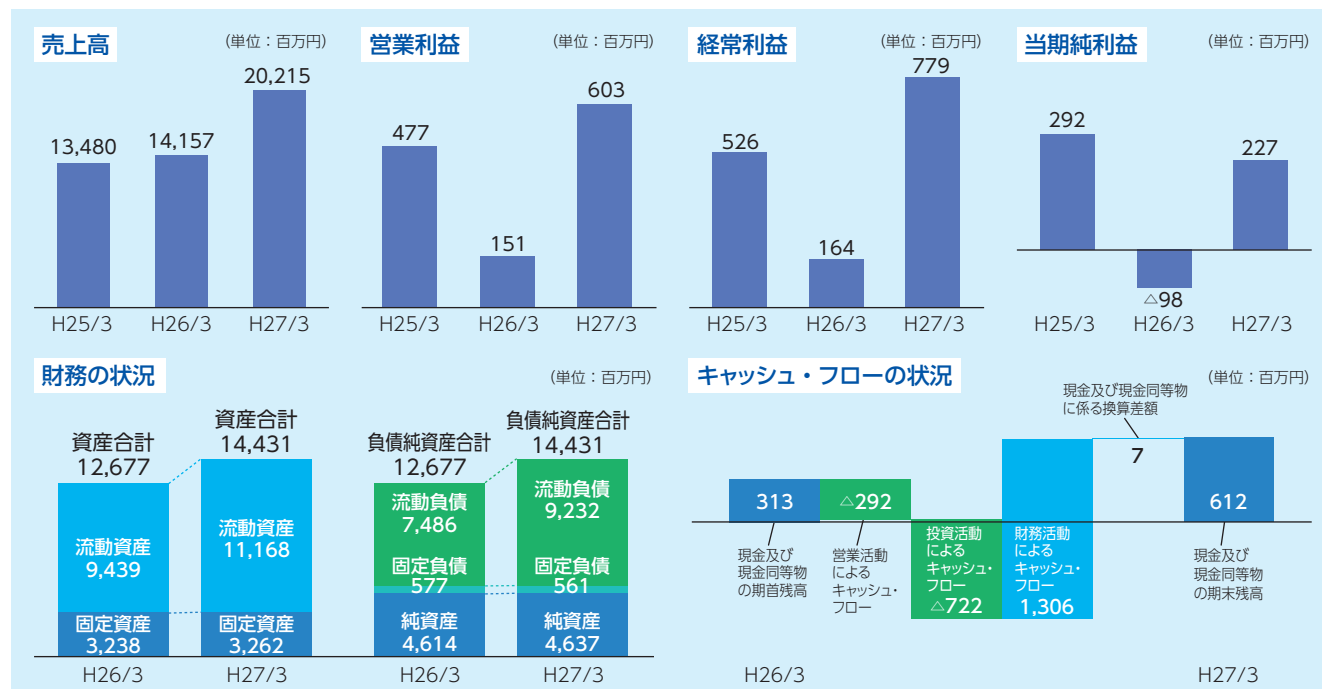
営業概況

平成27年3月期の連結業績につきましては、産業機器事業において通信基地局向け無停電電源装置の大型案件の納入により、大幅な増収となったほか、輸送機器事業においても、国内バス市場において複数の大型案件の納入を行ったことにより、グループ全体での売上は大幅に増加しました。一方、損益面においても、増収効果に加え、円安による営業外収益の増加により、増益となりました。

この結果、売上高は前期比42.8%増の202億15百万円、営業利益は前期比297.5%増の6億3百万円、経常利益は前期比372.9%増の7億79百万円、当期

純利益は2億27百万円（前期は98百万円の当期純損失）となりました。

なお、米国でのプロジェクトに関わる過年度の売上高及び損益の修正に伴い、平成26年3月期決算短信、平成27年3月期第1四半期決算短信、平成27年3月期第2四半期決算短信、平成27年3月期第3四半期決算短信を訂正しました。今回の過年度決算を訂正する事態を真摯に受け止め、再発防止策を確実に実行してまいります。





輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道・トラック・乗用車に搭載される室内用・荷室用照明機器の製造・販売も行っています。



主な製品

バス・鉄道用ICカードシステム、運賃箱、整理券発行器、OBC-VISION（液晶表示器）、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器、バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器



LED式行先表示器



OBC-VISION(液晶表示器)



新幹線用照明



ICカードリーダー付運賃箱



産業機器事業

インバータ技術をベースに産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子(株)において、自動車用電装品、産業機器関連の各種プリント基板実装事業を行っています。



主な製品

バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置、LED電源、直管型LEDランプ、屋外蛍光灯看板用電子安定器、ネオン変圧器(巻線式・電子式)、プリント基板実装事業



無停電電源装置



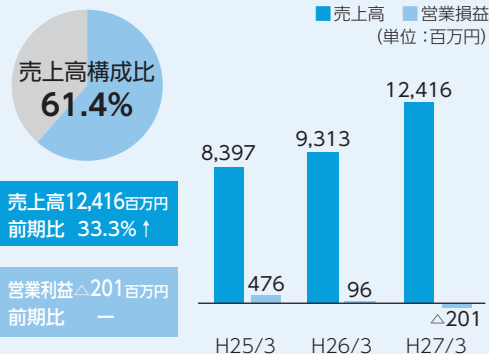
バッテリー式フォークリフト用充電器



プリント基板

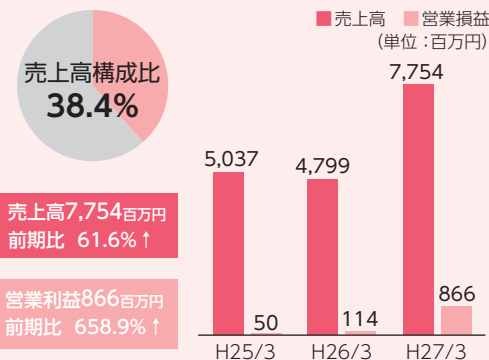
当期の営業概況

運賃箱やバス用ICカードシステムの大型案件の納入が進みましたほか、OBC-VISIONの拡販が進んだことにより大幅な増収となりましたが、首都圏への高機能運賃箱の投入や、海外ビジネスの立ち上がりの遅れにより、赤字となりました。



当期の営業概況

消費税増税後の反動により、自動車向けプリント基板の実装やネオン変圧器などの売上が減りましたが、通信基地局向け無停電電源装置の大型案件の納入により大幅な増収増益となりました。



※平成27年5月19日に過年度決算の数値の訂正を行っており、平成26年3月期の数値はこれを反映した数値を記載しております。

平成26年

4月 新型の無停電電源装置を開発

レシップエスエルピー株式会社は、リチウムイオン電池を搭載した無停電電源装置を開発しました。自然災害などによる停電時でも、一定時間、通信基地局に電力を供給することができる装置です。平成 26 年度は、更なる高速通信サービスの普及により、通信基地局の整備が進み無停電電源装置の需要が飛躍的に高まりました。



6月 京浜急行バス様より、バスロケーションシステムを受注

レシップ株式会社は、京浜急行バス様より、バスロケーションシステムを受注しました。対象の車両は 428 台あり、OBC-VISION (液晶表示器) やバス接近案内表示器などをご採用いただきました。

今後もバスロケーションシステムを始めとした TMS (運行管理システム) 案件の受注を着実に進めてまいります。



12月 カラー LED 式行先表示器を開発

レシップ株式会社は、日本で初めて、路線バス用のカラー LED 式行先表示器を開発しました。本製品は、バス車両の前面、側面、後面に設置し、路線番号や路線名、経由地のバス停などを表示する機器です。これまでの表示器はオレンジの単色のみでしたが、赤・黄・緑・白など多彩な色を表示できるようになり、表現の幅が広がりました。西武バス様の一部車両に搭載されており、ご好評いただいております。



会社概要

商号	レシップホールディングス株式会社 (英文社名: LECIP HOLDINGS CORPORATION)
所在地	〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2 TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
設立	昭和28年3月
資本金	7億3,564万円
従業員	連結486名
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部

役員

(平成27年6月19日現在)

代表取締役社長	杉本 眞
専務取締役	山口 芳典
取締役	長野 晴夫
取締役	杉戸 庸晃
取締役(非常勤)	杉山 涼子 (社外取締役)
常勤監査役	河村 富男 (社外監査役)
監査役	中川 彰
監査役	内木 一博 (社外監査役)
監査役	中島 宜隆 (社外監査役)

レシップグループ

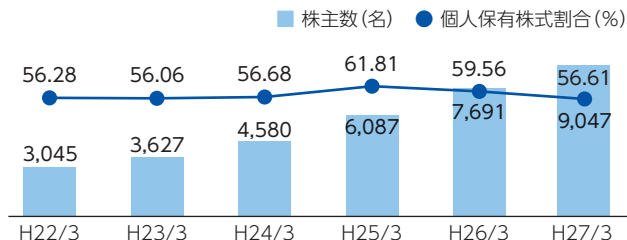
(※は連結対象会社)

レシップ株式会社*
レシップエスエルピー株式会社*
レシップ電子株式会社*
レシップエンジニアリング株式会社*
LECIP INC. (米国)*
LECIP S.A. de C.V.(メキシコ)
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD (シンガポール)*
LECIP THAI Co., Ltd. (タイ)
LECIP ARCONTIA AB (スウェーデン)*
LECIP ITS d.o.o. (スロベニア)
岐阜DS管理株式会社
レシップ産業株式会社

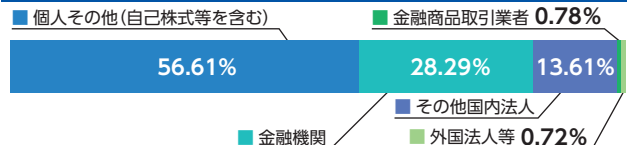
株式の状況

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式総数	12,798,200株
株主数	9,047名

株主数推移



所有者別株式数分布



大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
レシップ社員持株会	1,067,840	8.67
名古屋中小企業投資育成株式会社	936,480	7.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口)	609,482	4.95
株式会社十六銀行	560,000	4.54
杉本 眞	383,940	3.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口)	376,884	3.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (従業員持株ESOP信託口)	344,600	2.79
レシップ取引先持株会	312,200	2.53
朝日火災海上保険株式会社	300,000	2.43
日本生命保険相互会社	260,000	2.11

注: 持株比率は自己株式(485,820株)を控除して計算しております。

株主優待制度のお知らせ

対象株主 当社株式を200株（2単元）以上保有されている株主様を対象といたします。（基準日：毎年9月末日）

優待内容 当社本社所在地（岐阜県本巣市）の特産品である富有柿（進物用：1箱、2,000円相当）を贈呈いたします。

基準日現在で、当社株式を3年以上保有している長期保有株主様には、2,800円相当の富有柿1箱を贈呈いたします。

贈呈の時期 毎年11月下旬より順次発送を予定しております。



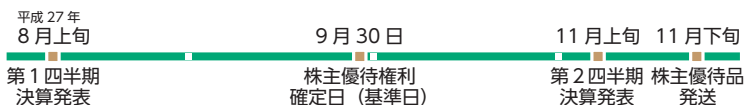
株主優待贈答品について

「天下を治める」という意味の「富有」と名付けられ、柿の王様と称される甘柿の代表種です。橙紅色で丸みのある大果で、渋みの全く残らない完全甘柿です。岐阜県が発祥の地といわれています。

IR担当より

毎年、株主優待品を楽しみにしてくださり、ありがとうございます。株主の皆様へ最良の品質のものをお届けするため、収穫状況や入荷量を確認しながら順次発送しておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

今後のIRスケジュール（予定）



お問い合わせ先

レシップホールディングス株式会社

管理本部 人事総務部

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2

TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

株主メモ

事業年度

4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日

3月31日

定時株主総会

毎年6月

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
Tel. 0120-232-711（通話料無料）

公告の方法

電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は適切に管理された森林から生まれた
「FSC®認証紙」及び「植物油インキ」を使用しています。